

9/15-21#25キリストは私たちの美德、神の平安、私たちの秘訣、私たちを力づけてくださる方である。Ⅰピリピ4:5-9にある、私たちが経験するキリストの美德は、キリストを生きる生活の表現です。Ⅰ:21なぜなら、私にとって生きることはキリストであり、死ぬことは益であるからです。Aパウロは、謙虚溫柔さと、思い煩いが無いことを、キリストを生きる生活の表現の最初の二つの面であると考えています。B思い煩いはサタンから来ており、人の生活の総合計であって、信者がキリストを生きる生活を妨げます。謙虚溫柔さは神から来ており、キリストを生きる生活の総合計です。両者は相反します。Ⅱ. 5 あなたがたの謙虚溫柔さを、すべての人に知らせなさい。主は近いのです。Aクリスチャンの経験によれば、謙虚溫柔さは、すべてを含んでいます。なぜなら、それはクリスチャンのすべての美德を含んでいるからです。謙虚溫柔さは実は、すべてを含む霊の満ちあふれる供給を伴うすべてを含む霊としてのすべてを含むキリストです。Ⅰ:19 イエス・キリストの霊の満ちあふれる供給を通して、このことが私にとって救いとなることを知っているからです。1謙虚溫柔さは、人を取り扱うことにおいて理にかなっていること、思いやりがあること、考慮があることであり、合法的な権利を要求することにおいて厳格でないことです。謙虚溫柔さが意味するのは、私たちが容易に満足するということであり、私たちの得るべきものより少なくとも満足するということです。a謙虚溫柔さは、愛、忍耐、慈愛、へりくだり、同情、思いやり、服従、進んで服することを含んでいます。私たちがそのようなすべてを含む美德を持つなら、義と聖も持ちます。b謙虚溫柔さはまた、自制、適度であること、温和、理解すること、同情、知恵、あわれみ、平和、主を仰ぎ望むこと、さらには主がすべての事において主権を持っていることを認める美德をも含んでいます。2謙虚溫柔な人は、常に適合する人であり、彼の行為は常に適切なものです。a私たちが謙虚溫柔であるなら、知恵と能力を持ち、他の人たちに彼らの必要とするものを供給するでしょう。私たちはまた、彼らに対して何を言うべきか、またいつ言うべきかについての十分な知識も持つでしょう。b謙虚溫柔であるとは、自分が行なったり言ったりすることで、人がどのような影響を受けるかを考慮することです。B謙虚溫柔さはすべてを含む美德であり、キリストご自身です。キリストが謙虚溫柔さであるので、パウロが生きることは謙虚溫柔さでした。1私たちの謙虚溫柔さをすべての人に知らせるとは、私たちが生き、大きく表現するキリスト、私たちが模範とし、目標として追い求めるキリストを、すべての人に知らせることです。2主イエスだけが、謙虚溫柔さに満ちた生活をしました。今日キリストだけが、私た

ちの完全な謙虚溫柔さになることができます。3私たちの謙虚溫柔さを知らせるとは、キリストを表現する生活をするということです。このような生活は、キリストをすべての人性の美德の総合計として表現します。4パウロは謙虚溫柔さについて語った後すぐに、主は近いと言っています。空間的に、主は私たちに近く、すぐにも助けてくださいます。時間的に、主は近く、間もなく来ます。主が近いことは、おもに主が私たちと共にいることを言っています。C私たちは、どのような環境、状況、境遇の中にあっても、造り変えられる秘訣として、私たちの天然の命において新陳代謝的に変えられる秘訣として、キリストを学ぶ必要があります。この実際的で単純な秘訣は、6節と7節にあります。『6何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい。7そうすれば、人知をはるかに超えた神の平安が、あなたがたの心と思考を、キリスト・イエスの中で護衛してくださいます』。Ⅲ。「私たちは日常生活に問題を持つとき、人からのアドバイスを求める必要はありません。なぜなら、私たちの中には霊があり、その霊としての主が私たちの霊の中に住んでいて、私たちにとっても近いからです。私たちは彼にすべてのことを尋ねることができ、電話やファックスを使う必要はありません。なぜなら、彼は内側で私たちと話すことができるからです。あなたはあらゆる事で彼と話し合い、相談することができます。主の御言は言います、『6何事にも思い煩うことなく、あらゆることにおいて、感謝をささげることを伴う祈りと願い求めによって、あなたがたの要望を神に知らせなさい』。ですから、あなたは何か問題があるなら、ただ彼に告げる必要があります。彼はあなたの中にいて、あなたと面と向かっておられます。三一の神(父、子、霊)は私たちの中にいて、私たちが煩わせているのではなく、私たちのパラクレート、慰め主、支える方となっておられます。私はいつも祈ります、『おお、主よ、今私は散歩をしようとしています。私を支え、維持し、強めてください』。これは主を飲むことです。このようにして、私には思い煩いはありません。思い煩いがやって来るとき、あなたは言うべきです、『おお、主よ、この思い煩いはあなたのものであって、私のものではありません。私はそれをあなたに与えます。なぜなら、あなたは私に代わってそれを担ってくださるからです』。こうして、あなたは主の要素をあなたの中へと受け入れ、あなたの中で常に新陳代謝が作用します。その結果、あなたを通して外側に表現されるのはキリストです。これがキリストを生きることです。この秘訣を知らない人は、キリストを生きるのは難しい事であると考えます。実は、あなたはただ常に主と語ることを実行

する必要があります。そうすれば自然にキリストを生きるでしょう」A「キリストご自身が、人知をはるかに超えた神の平安です。B「あらゆることにおいて」という言葉は、日ごとに私たちに起こるさまざまな多くの事を指しています。祈りは一般的なものであり、礼拝と交わりがその本質です。願い求めは特別なものであり、特定の必要のためです。私たちの祈りにも願い求めにも、主に感謝をささげることが伴っているべきです。C「神に」は、ある方向の動作を示し、生ける結合と交流の意味であって、交わりを暗示します。ですから、ここの「神に」の意味は、「神との交わりの中で」ということです。D「祈りの中で神との交わりを実行した結果は、私たちが神の平安を享受することです。神の平安は實際上、平安としての神であり、私たちが祈りによって彼と交わることを通して、悩みの均衡をとる重り、思い煩いの抗毒剤として、私たちの中へと注入されます。E「平安の神は、キリストの中で私たちの心と思考の前を巡回して、私たちが落ち着かせ、静めてくださいます。私たちは思い煩いのない生活をしようとするなら、私たちのすべての境遇が、良くて悪くても、神によって私たちに定められたものであって、私たちがキリストを獲得し、キリストを生き、キリストを大きく表現するという定めを成就させることを、認識する必要があります。IV.「8 最後に、兄弟たちよ、何であれ真実なこと、何であれ誉れあること、何であれ義なること、何であれ純粋なこと、何であれ愛らしいこと、何であれ好評なこと、またもし何らかの徳があり、何らかの称賛があるなら、これらのことを考慮しなさい」A「これらの美徳は神の属性の表現であり、神の具体化であるキリストを追い求める者の内側から生かし出されます。B「これらの美徳は、キリストを生きる生活を支配する六つの面です。1「キリストを生きる生活は真実です。倫理的に真実であって、何の見せかけも虚偽ありません。2「キリストを生きる生活には誉れがあります。尊く、高貴で、謹厳で、堅固で、重みがあり、尊敬に値します。3「キリストを生きる生活は義です。神と人の前で正しいです。4「キリストを生きる生活は純粋です。意図と行動の上で単純で、何の混合もありません。5「キリストを生きる生活は愛らしいのです。愛すべきものであり、人の意にかなうものであり、愛情を抱かせます。6「キリストを生きる生活は好評です。名声があり、評判が良く、魅力があり、人の心を捕まえ、親切です。C「徳と称賛は、前の六項目の総括であり、その六項目すべての中に、いくらかの徳あるいは卓越性と、称賛に値するものがあります。D「正しい人になることは、私たちの人性の美徳にある神聖な属性を通して神を表現することであり、神の属性の実際であるキリストで満たされた人の生活をするということです。

V.「11b 私はどんな境遇でも、満ち足りることを学んだ...。12 私は卑しくなる道を知り、また豊かになる道も知っています。あらゆる事において、また一切の事柄において、私は飽くことにも飢えることにも、豊かであることにも乏しくあることにも、秘訣を学びました。13 私は、私を力づけてくださる方の中で、一切の事柄を行なうことができるのです」A「パウロはキリストを秘訣とすることによってキリストを経験し、あらゆる種類の境遇において、どのような状況でも、どのような事柄においても、キリストのゆえに満ち足り、喜んでいました。B「私は...秘訣を学びました」は、文字どおりには、「入門した(入れられた)」を意味します。ここの比喻は、人が秘密結社に入門して、基本原則を教えられることを言います。1「パウロはキリストに回心した後、キリストの中へと、またキリストのからだの中へと入れられました。2「パウロは、どのようにキリストを命とし、どのようにキリストを生き、どのようにキリストを大きく表現し、どのようにキリストを獲得し、どのように召会生活をするかの秘訣を学びました。3「ピリピ4章の秘訣は、私たちが力づけてくださる方であるキリストの中で、一切の事柄を行なうことです。キリストの中にある人として、パウロはすべての境遇においてキリストを経験し、キリストを適用しました。このキリストは真実であり、生きており、近くにおられ、便利であり、超越しています。4「キリストが力づける方であることについてのパウロの言葉が特に適用されるのは、キリストが私たちが力づけて、私たちの人性の美徳としての彼を生きさせ、それによってあらゆる種類の境遇において、彼の無限の偉大さを大きく表現させることに対してです。5「キリストが力づけてくださることによって、私たちは満ち足りた生活をすることができ、また真実であり、誉れがあり、義であり、純粋であり、愛らしく、好評であることができます。これらの美徳の生活をするのは、キリスト教の働きを行なうことよりはるかに難しいのです。6「私たちは、キリストを力づける方として経験しようとするなら、以下の事柄において、キリストと協力する必要があります。a「私たちは、地上における私たちの実際的な生活の中で、絶えず祈る人となって、神の御前に来て、神の中へと入り、神の御顔の光の中で生きなければなりません。b「私たちは、主の血が十字架上で流されたことに基づいて、私たちの罪に対する徹底的で新鮮な赦しを経験する必要があります。c「私たちは、昇天とは何であるかを認識する必要があり、また私たちが受け入れた命は天的な命であることを認識する必要があります。私たちは主と共に昇天したので、天的な人であるという事実を知っているべきです。私たちは、外側ではなおも地上で生きていますが、内側では、私たちの内なる命と心情においては天上で生きているのです。